

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公開番号】特開2012-128082(P2012-128082A)  
 【公開日】平成24年7月5日(2012.7.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-026  
 【出願番号】特願2010-278186(P2010-278186)  
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/02 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/02 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月9日(2013.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

像担持体に当接し、電圧が印加されることにより前記像担持体の表面を帯電するための  
 ブレード状の帯電部材であって、  
 前記像担持体の表面に対して放電を行うための帯電部と、  
 前記像担持体の表面に対して放電を行わないための非帯電部と、を有し、  
 前記非帯電部は前記像担持体と接触して、前記帯電部と前記像担持体との間に放電可能な  
 間隙を設けることが可能であり、  
 前記非帯電部は、前記非帯電部から前記像担持体の表面に対して放電をしないように、少  
 なくとも一部が帯電部よりも高抵抗の物質で構成されており、  
 前記非帯電部は、前記像担持体の表面に前記帯電部の長手幅以上の長手幅に渡って当接し  
 て前記像担持体の表面を摺擦可能に設けられ、  
 前記像担持体の表面を帯電する際に放電を行う前記帯電部の表面の放電位置と前記帯電部  
 材に電圧を印加するための電極部との最近接の距離が、前記帯電部材の長手中央部におけ  
 る前記距離より前記帯電部材の長手端部における前記距離の方が長いことを特徴とする帯  
 電部材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

上記の目的を達成するための本発明に係る帯電部材の代表的な構成は、  
像担持体に当接し、電圧が印加されることにより前記像担持体の表面を帯電するための  
 ブレード状の帯電部材であって、  
 前記像担持体の表面に対して放電を行うための帯電部と、  
 前記像担持体の表面に対して放電を行わないための非帯電部と、を有し、  
 前記非帯電部は前記像担持体と接触して、前記帯電部と前記像担持体との間に放電可能な  
 間隙を設けることが可能であり、  
 前記非帯電部は、前記非帯電部から前記像担持体の表面に対して放電をしないように、少  
 なくとも一部が帯電部よりも高抵抗の物質で構成されており、

前記非帯電部は、前記像担持体の表面に前記帯電部の長手幅以上の長手幅に渡って当接して前記像担持体の表面を摺擦可能に設けられ、  
前記像担持体の表面を帯電する際に放電を行う前記帯電部の表面の放電位置と前記帯電部材に電圧を印加するための電極部との最近接の距離が、前記帯電部材の長手中央部における前記距離より前記帯電部材の長手端部における前記距離の方が長いことを特徴とする。